

## 5 特別支援教育関係事業

平成29年度千葉県教育庁主要事業の各課別に見た、特別支援教育関係の具体的な事業

※（新みんなどで取り組む「教育立県ちば」プラン点検計画 施策10 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進より抜粋）

主 要 事 業 名	事 業 の 内 容
総合教育センター教育相談事業 (指導課)	特別な教育的支援を必要とする幼児、児童、生徒、またその保護者及び教員等に対して、専門的な立場から養育や教育について相談を実施して支援・助言を行う。また、学校等から依頼があった場合は、所員が学校等に出向き、支援の方法等についての相談に応じる。
千葉県教育支援委員会 (特別支援教育課)	障害のある幼児児童生徒への適切な就学指導・支援及び、就学後のフォローアップを行う。
特別支援アドバイザー事業 (特別支援教育課)	公立の幼稚園、小中学校、高等学校の要請に応じて各学校を訪問し、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方等について、派遣先の教員、特別支援教育支援員、ボランティア等に対し、助言や援助を行う特別支援アドバイザーを各教育事務所に配置する。
高等学校特別支援教育支援員配置事業 (特別支援教育課)	県立高等学校に、介護福祉士、看護師、臨床心理士等の資格取得者、もしくはそれに準ずる者を、特別支援教育支援員として配置し、生活全般の介助を必要とする生徒への適切な支援を行う。
特別支援学校整備事業 (財務施設課) (県立学校改革推進課)	特別支援学校の児童生徒の増加に伴う教室不足や施設の狭隘化等の過密状況に対応するため、高等学校等の使用しなくなった校舎等を活用した新設校等の整備を行う。また、障害のある児童生徒等が、将来の自立や社会参加に向けて、適切な環境で学習することができるよう、障害特性に配慮した施設・設備、学習環境の計画的な整備を行う。
特別支援学校スクールバス運行业務委託 (財務施設課)	特別支援学校の児童生徒の通学負担を軽減するため、通学用スクールバスの運行を行う。
県立学校での障害者の雇用（教職員課）	障害のある人を県立学校の学校技能員、調理員等の業務に係る嘱託職員として雇用し、一般企業等への就労に向けたキャリアアップの推進を図る。また、この取組の成果を県内に発信し、市町村への普及を図る。
特別支援学校職業指導委嘱講師配置事業 (特別支援教育課)	特別支援学校における職業教育の充実を図るため、農業、園芸、窯業、木工等様々な職種の実験家を委嘱講師として活用し、職業に係る専門的知識・技能の習得を図る。
特別支援学校自立活動運営事業 (特別支援教育課)	特別支援学校の幼児児童生徒の視覚、聴覚、認知、行動、運動障害の改善を目指し、専門の医師及びその他の専門家の指導助言を受ける中で、教員が幼児児童生徒の特性に合わせたより専門的な指導・支援ができるようにする。
医療的ケア担当者の専門性向上研修事業 (特別支援教育課)	特別支援学校が安全で確実な医療的ケアを実施できるように、医療的ケアを担当する教員及び特別非常勤講師（看護師）に対し、基本的な知識・技術及び援助の方法について、医師等を講師にして研修会を実施する。

(平成29年度 主要事業概要より抜粋)

主 要 事 業 名	事 業 の 内 容
第2次千葉県特別支援教育推進基本計画の策定 (特別支援教育課)	平成28年度に〔千葉県特別支援教育推進基本計画〕の計画期間が終了したことから、この基本計画に示した本県特別支援教育推進の考え方を引き継ぎ、新たな課題への対応を図るとともに、本県の特別支援教育の一層の充実を図るため、「第2次千葉県特別支援教育推進基本計画」を策定する。
県立特別支援学校の施設・設備整備 (財務施設課)	特別支援学校の教育環境の整備充実 ・使用しなくなった校舎等を活用した新設校の整備 ・校舎等の増築 ・作業実習室の空調整備
県立特別支援学校の過密状況への対応 (県立学校改革推進課)	平成23年3月に策定の「県立特別支援学校整備計画」に続く計画として、「第2次県立特別支援学校整備計画」を策定する。県立特別支援学校の現在の過密状況及び今後5年間の増加見込みに対応する。
教職員の研修事業 (指導課)	教職員の資質能力の向上や学校経営改善のための研修事業の総合的な計画を策定し実施する。 ・初任者研修、フォローアップ研修Ⅰ・Ⅱ、5年経験者研修、ステップアップ研修、中堅教諭等資質向上研修 ・新任校長・教頭・主幹教諭・教務主任研修等 ・大学や企業等へ現職教員を派遣する長期研修 ・教科指導や生徒指導等に関する研修 ・特別支援教育に関する研修 ・教員の民間研修
修学旅行等安全対策事業 (特別支援教育課)	医療的ケアを必要とする児童生徒が参加する修学旅行等に医師、看護師等を派遣し、児童生徒の健康及び安全の確保を図る。
特別非常勤講師配置事業 (特別支援教育課)	優れた知識・技術・技能等をもつ地域の社会人を、特別非常勤講師として特別支援学校に配置し、児童生徒一人一人に応じた多様な教育活動を推進する。
医療的ケアの必要な児童生徒等のための支援事業 (特別支援教育課)	医療的ケアを必要とする児童生徒が健康で安定した学校生活を送ることができるよう、医療的ケアを行う特別支援学校を指定し、医療的ケアの指導方法の改善及び充実を図る。 ・医療的ケア担当者の専門性向上研修事業 ・特別支援学校看護師等指導事業 ・医療的ケア運営会議
教育用コンピュータの整備 (特別支援教育課)	情報活用能力を育成するため、教育用コンピュータの整備を推進する。
特別支援学校就労支援等教員研修事業 (特別支援教育課)	特別支援学校教員が、キャリア教育や就労支援等の知識や技能を高め、障害のある生徒の就労に関するネットワーク体制の確立と就労支援の一層の充実を図る。

(平成29年度 総合教育センター研修事業 <特別支援教育部>より抜粋)

主要事業名	事業の内容
基礎から学ぶ知的障害研修	特別支援教育概論。知的障害についての基礎的な理解と障害特性に応じた指導・支援の具体的な方法を学ぶ。教材・教具や地域の相談窓口・連携機関の紹介、学校参観、情報交換あり。
知的障害のある子の学習指導（専門）研修—国語・算数（数学）の指導—	知的障害教育について、基礎的な知識を持つ方が対象。知的障害教育におけるアクティブラーニングを活用した学習と国語・算数（数学）の教科指導の実際について研修を深め、専門性の向上を図る。
知的障害のある子の生徒指導（専門）研修—性に関する指導とSNSをめぐるトラブルの予防—	知的障害教育について、基礎的な知識を持つ方が対象。インターネットやSNSをめぐるトラブルの予防や性に関する指導等、生徒指導のあり方について研修を深め専門性の向上を図る。
基礎から学ぶ自閉症研修	特別支援教育概論。知的な遅れのある自閉症の子どもの特性や支援・指導の方法について学ぶ。
知的障害のある自閉症児の社会性発達支援（専門）研修—行動の分析及び指導の実際—	自閉症のある子の教育に関して基礎的な知識を持つ方が対象。知的な遅れのある自閉症の子どもの指導方法等について、ビデオ分析演習等を通して学ぶ。
基礎から学ぶ発達障害研修	特別支援教育概論。発達障害のある子どもの特性や支援・指導の方法について学ぶ。地域での指導実践を通して、支援の実情を聞く。ネットワーク作りにも役立つ情報交換あり。
発達障害のある子の授業づくり（専門）研修	発達障害のある子の指導について基礎的な知識を持つ方が対象。発達障害のある子どもの認知・行動特性に応じた教科指導の在り方や自立活動の指導等についての専門的な知識を学び指導力の向上を図る。
発達障害のある子の指導（専門）研修—身体の動きがぎこちない子の指導—	発達障害のある子の指導について基礎的な知識を持つ方が対象。発達障害のある子どもの困難さについて、感覚統合や視知覚認知の観点から専門的な知識を学び指導力の向上を図る。
基礎から学ぶ肢体不自由研修A	肢体不自由のある子どもの指導や支援について基礎・基本的知識について学ぶ。摂食指導、身体・姿勢については実技を通して研修する。
基礎から学ぶ肢体不自由研修B	肢体不自由のある子どもの指導や支援について基礎・基本的知識について学ぶ。健康・車いすについては、実技を通して研修する。
肢体不自由のある子の指導（専門）研修—AACを活用して外界に働きかける力を高める—	肢体不自由のある子どもの指導について基礎的な知識を持つ方が対象。肢体不自由のある子どもの外界に働きかける力を高めるためにAACを活用した支援の実際について、演習を通して専門的な知識・技能を習得する。
肢体不自由のある子の指導（専門）研修—国語につながることばの力をそだてる—	肢体不自由のある子どもの指導について基礎的な知識を持つ方が対象。国語の教科学習の入門期におけることばの力を育てるための指導の方法とその実際について、専門的な知識・技能を習得し、実践的指導力の向上を図る。
心理検査 WISC-IV（初級）研修	WISC-IVの特徴と活用、検査結果の基本的な処理と解釈等について学ぶ。
WISC-III、WISC-IV（中級）研修—読み取りと具体的支援—	WISC-III、WISC-IVの検査結果の解釈の進め方、検査事例等から具体的な認知特性に応じた指導・支援にどう結びつけるかについて学ぶ。
WISC-III、WISC-IV（上級）研修—アセスメントからみるニーズに応じた支援—	演習を中心にWISC-III、WISC-IVの実施技術の向上を目指す。特性、処理法、解釈や特性に応じた指導の在り方を学ぶ。
新版K式研修—アセスメントからみるニーズに応じた支援—	演習を中心に新版K式の実施法、結果の処理と解釈、活用の仕方について学ぶ。認知特性に応じた指導のあり方について事例検討を行う。
基礎から学ぶ言語障害研修	言語障害に関する基本的事項について、ことばの発達や構音器官のはたらきの観点から学ぶ。さらに構音障害の指導法や教材・教具の活用について、演習をまじえながら学ぶ。
ことばにつまずきのある子の指導（専門）研修	吃音や言語発達の遅れに関する専門的知識を学ぶ。構音障害の指導法についてグループ協議を行い、実践力を高める。
発達につまずきのある幼児の理解と対応研修	幼児と低学年児童のことば、コミュニケーション、行動等のつまずきに対して、発達段階を踏まえた理解と対応について学び、併せて保護者との協力体制の構築について学ぶ。
「見ること」に困難さがある子の指導（専門）研修	全盲、弱視にに関する知識を学んだ上で、疑似体験や演習を通して様々な見え方について体験する。書字や読字の困難さに係る見え方についても取り上げ、具体的な支援方法を学ぶ。
「聴くこと」に困難さがある子の指導（専門）研修	聴覚障害のある子への乳幼児期の支援法や、教科指導における配慮について、聾学校の実践を基に学ぶ。補聴器や人工内耳について専門的な知識を学ぶ。
摂食指導研修—おいしく、楽しく、安全に食べるための理論と実際—	食事に介助が必要な児童生徒や、食べこぼしが多い、なかなか飲み込めないといった児童生徒に対する指導・支援法の研修として、食べる・飲み込む機能についての理論や、おいしく楽しく安全に食べるための指導方法を学ぶ。
特別支援教育相談研修—特別な教育的支援が必要な子と家族への支援—	特別な教育的支援が必要な子どもや保護者に教育相談としてかかわるときの在り方を、家族の視点に立った実践例を基に学ぶ。
特別支援教育におけるICTを活用した教材・授業づくり研修	特別支援教育のICT機器の活用として、コミュニケーションツール、学習支援ツールとしての可能性や教材開発などについて学び、演習を通して実際の授業への活用を図る。
特別支援教育コーディネーター研修	特別支援教育コーディネーターの役割、相談支援の在り方と効果的なコンサルテーション、インクルーシブ教育システムの構築等について学び、特別支援教育コーディネーターとしての資質及び指導力の向上を図る。
医師から学ぶ医学的知識研修—障害のある子の支援のために—	特別支援教育に役立つ医学的知識と医療的配慮事項を学ぶとともに、医療的な立場から障害のある子への教育と学校生活を考える。
ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくりや学級づくり研修	通常の学級での支援を必要とする子ども達の「わかる」「できる」授業づくりや学級づくりをめざし、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた支援の工夫を習得するとともに、実際の授業づくりや学級づくりについて学ぶ。